

六ツ美中部学区の地域内交通について

1 実証運行

六ツ美中部学区では、鉄道、バスの徒歩圏（鉄道駅 800m、バス停 300m 圏内）に属する地域が少なく、学区内の多くは交通が不便であり、また、学区内に病院やスーパー等が少なく、日常生活を過ごすには学区外へのお出かけが必要不可欠なため、高齢者を中心に移動手段の確保が必要な点が課題としてあげられる。地域課題の解決に向け、「**交通不便地域における日常生活の移動の確保**」が図られるものであるか。」「**事業の継続性の確保**」がされているか。」について予約型乗合タクシー「チョイソコおかざき」の実証運行による検証を進めている。

○実証運行スケジュール

	期間	主な実施事項等
第 1 期	R2. 9. 15～R3. 9. 14	・ 無償運行（R2. 9. 15～30） ・ 有償運行（R2. 10. 1～）
第 2 期	R3. 9. 15～R4. 3. 31	・ 乗継券価格改定（100 円→200 円）、 ・ 予約可能時間変更（～30 分前→～15 分前）
第 3 期	R4. 4. 1～R4. 9. 30	・ 曜日変更（水曜日廃止、土曜日追加） ・ 回数券の導入（200 円券 12 枚：2, 000 円） ・ 並行移動ルールの緩和（R4. 6 限定）
第 4 期	R4. 10. 1～R5. 3. 31	・ 会員条件の変更（学区外の方も会員の対象とする） ・ 並行移動ルールの緩和（R5. 2・3 限定）
第 5 期 （実証中）	R5. 4. 1～R5. 9. 30	・ 曜日変更（週 5→週 4（土曜日廃止）） ・ 時間変更（～16:00→～17:00）

(1) 主な利用実績等（運行期間：令和 2 年 10 月 1 日（木）～令和 5 年 3 月 31 日（金） 計 607 日

	実績値	備考
会員登録者数	1, 027 人	令和 5 年 3 月末時点
予約成立件数	3, 602 件（120. 1 件/月、5. 9 件/日）	最大月：8. 1 人/日（R4. 6）、最小月：4. 4 人（R2. 12）
利用者数	4, 055 人（135. 2 人/月、6. 7 人/日）	最大月：9. 9 人/日（R4. 6）、最小月：4. 6 人（R3. 1）
実利用者数	165 人 うち 6 人（新規利用者） 32 人（継続利用者） 109 人（利用離反者） 18 人（利用復帰者）	令和 5 年 3 月実績 利用離反者：最後の利用以降に 2 か月以上利用がない者
利用頻度	28 人（月 1 回以上利用） 49 人（2 月～半年で 1 回以上利用） 88 人（2. 5 年で数回利用）	令和 5 年 3 月末時点
利用者割合	16. 1%	実利用者数（165 人）÷会員登録者数
乗合率	1. 30 人/便	最大月：1. 72 人/便（R5. 3） 最小月：1. 04 人/便（R3. 2）

※詳細は「資料 6 別冊① 「チョイソコおかざき」現状報告について」に記載。

(2) 地域活動状況等

地域主体の交通の実現のため、六ツ美中部学区エリアバス運営協議会が中心となり、実証運行中である「チョイソコおかざき」の運行内容の改善策や、地域に合った運行方法の検討に加え、地元への周知活動やアンケート調査等を行っている。

ア 六ツ美中部学区エリアバス運営協議会構成員（平成 30 年 12 月設立）

前年度学区の総代会長・副会長・町総代 9 名・社会教育委員・老人クラブ会長等  
※その他、前年度の協議会会長等が相談役として出席

イ 直近の活動状況等

活動実績		実施事項等
R4. 4. 22	第 19 回協議会	現状把握、利用促進について協議
R4. 6. 24	第 20 回協議会	次期運行計画について協議
R4. 8. 26	第 21 回協議会	運行計画の変更、次期運行計画について協議
R4. 8～9	周知活動	近隣学区チョイソコ説明（総代会等への参加）
R4. 10. 28	第 22 回協議会	次期運行計画、利用促進策について協議
R4. 12. 23	第 23 回協議会	次期運行計画、利用促進策について協議
R4. 12～R5. 1	聞き取り調査	六ツ美中部学区内 75 歳以上対象に聞き取り調査を実施（※）
R5. 2. 24	第 24 回協議会	本格運行、利用促進策等について協議
R5. 4. 28	第 25 回協議会	現状把握、本格運行、利用促進策等について協議

※概要は次項

詳細は「資料 6 別冊③ 六ツ美中部学区 「チョイソコ」利用アンケート結果報告」に記載

ウ 聞き取り調査結果概要について（R4. 12～R5. 1）

- 調査目的  
六ツ美中部学区内の満 75 歳以上の世帯に聞き取り調査を行い、チョイソコおかざきの認知度、利用状況、改善項目、今後の利用等の確認を行った。
- 調査対象及び調査方法  
調査対象：六ツ美中部学区内満 75 歳以上住民  
（※75 歳以上の夫婦等については、代表者に聞き取りを行う。）  
調査方法：各地区総代が各戸訪問を行い、聞き取り  
調査時期：令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月
- 調査件数  
605 名/908 名

○ 調査結果について

- ・ 普段の移動は自家用車の利用が 75%と多く、回答者の 82%の方は免許返納の予定もない。
- ・ チョイソコについては回答者の 87%の方が知っており、認知度は高い。
- ・ 自家用車や家族送迎の利用ができ、チョイソコについてまだ必要性を感じていない。
- ・ 予約について面倒と感じる方も一定数いる。
- ・ 利用しない理由として、①午後の診療で利用できない、②料金が高い（往復 800 円）、③福桶町では路線バスがあり利用できない場合があるとの回答が多い。
- ・ 75 歳以上は、スマホを持っていないとの回答が多い。
- ・ 改善要望として水曜日の利用を要望されている。（医者によっては水曜日診療しているため）
- ・ 終了時刻は午後 5 時まで延長を要望されている。（午後の診療が受けられない）
- ・ 福桶町の方は、名鉄バス路線下の利用が出来ない為不便と感じている。
- ・ チョイソコ通信の配布方法についての改善も検討できる。
- ・ 回答者の 56%の方が今後、利用予定であると回答している。（免許返納したらチョイソコを利用したいと言われる方が多い）

○ 今後の方針について

- ・ 75 歳以上の方の多くは、主に自家用車を利用しており、家族送迎等も利用できるとの意見もある。今一度、目的（交通不便地域における移動手段の確保）を達成しているかについて確認し、適切なサービスについて検討を行う。
- ・ チョイソコを利用しない理由や改善点として、サービスに制限についての意見がある。検証できることはした上で本格運行のルールを検討できればより良いため、地域、既存事業者等とサービスについて引き続き検討を行う。

(3) 昨年度実施イベント等（㈱アイシン主催）

健康増進を図るため、お出かけ機会の創出を図るイベントを月に 1 回程度開催している。

○令和 4 年度実績

開催日	実施内容等（参加員数・内チョイソコ利用者）
R4. 4. 7	歴史ある「大樹寺」散策とプチ贅沢ランチを楽しもう（15 人・ 5 人）
R4. 5. 17	スマホ教室、福祉車両展示（同時開催）（9 人・ 9 人）
R4. 5. 26	塩こうじ作り＆岡崎おうはん試食会（14 人・ 6 人）
R4. 6. 30	筋肉が喜ぶ食事講座＆健康体操（17 人・ 8 人）
R4. 7. 29	マジックショー（9 人・ 4 人）
R4. 8. 30	健康お化粧会（19 人・ 8 人）
R4. 10. 18	歴史ある「瀧山寺」散策とプチ贅沢ランチツアー（11 人・ 2 人）
R4. 12. 26	足把持力測定会×ランチ（7 人・ 6 人）
R5. 2. 2	第 2 弾 足把持力測定会（7 人・ 7 人）
R5. 3. 25	正願寺の桜を観る会＆スマホ教室（9 人、7 人）
R5. 3. 27	ガイドと巡る岡崎城散策（14 人、7 人）
R5. 3. 28	よってみりん ブース出展（南部福祉センター連携イベント）（62 人来場）



2 第 1 期～第 4 期実証実験の総括について

- ・「チョイソコおかざき」は通院や買い物等の日常生活の足を確保するとともに、お出かけ機会を創出し、健康増進を図る定額制の乗合送迎サービスである。
- ・当該地域の課題である、高齢者を中心とした日常生活における移動手段の確保を解決するため、「チョイソコおかざき」を用いて実証実験を行った。
- ・チョイソコの利用者実績より、70 代、80 代の自動車免許を持っていない方が診療所や商業施設等の日常生活で利用する場所を目的地とする移動があり、バスではいけない箇所等に比較的に安価に移動できることから、地域の利便性の向上に一定の効果がある。
- ・区域で運行、停留所の設置により、公共交通へのアクセス性の向上が図られた。
- ・イベント開催等により、高齢者を中心としたお出かけ機会の創出が図られた。
- ・予約不成立等の実績は月に 2 件程度であり、車両数の増加等を図るまでの影響はないと考えられる。
- ・利用者一人当たりの市費負担額は大きい。
- ・他交通事業への影響として、第 3・4 期で行った並行移動ルールの緩和等についてまとめ、事業者等と調整する必要がある。

※詳細は「資料 6 別冊② 「チョイソコおかざき」実証実験総括【第 1 期～第 4 期】」に記載



本格運行に向けた方針等について

1 六ツ美中部学区の現状と課題について

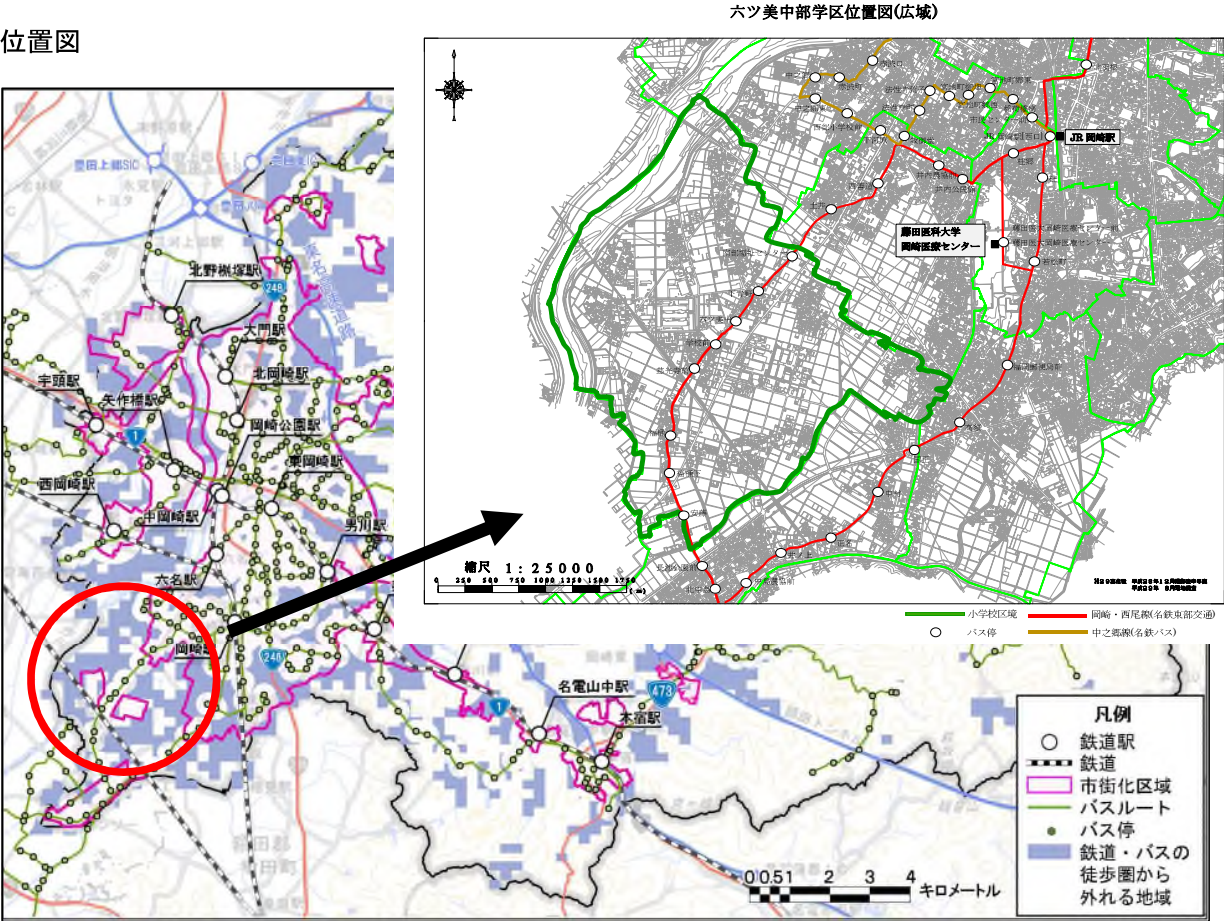
令和2年10月からこれまでの実証実験より、地区の概要や課題等についてまとめ、本格運行を進める上での方針とする。

(1) 地区概要

名鉄東部交通バス「岡崎・西尾線」が南北に縦断して運行しているが、鉄道、バスの徒歩圏（鉄道駅 800m、バス停 300m 圏内）に属する人口が少なく、学区内の多くは交通が不便な地域となっている。また、学区内には病院やスーパー等が少なく、日常生活を過ごすには学区外へのお出かけが必要不可欠な地域である。

R4.5.1時点	六ツ美中部学区	岡崎市
人口	5,431人	383,789人
人口（65歳以上）	1,528人	93,133人
高齢化率	28.13%	24.26%
世帯数	2,008世帯	168,543世帯
面積	7.43km <sup>2</sup>	387.20km <sup>2</sup>
公共交通の人口カバー率 （※R3時点）	28%	78%

○位置図



(2) 実証実験の実施結果等について（チョイソコおかざき、岡崎・西尾線実績等まとめ）

- ・70代、80代の自動車免許証を持っていない方の利用者が多い。
- ・移動の目的地は、六ツ美中部学区市民ホーム、ふれあいドーム等の学区の中心部や、学区外のエルエルタウンやドミー福岡店など多岐にわたる。
- ・主に、診療所や商業施設に移動している。（約7.1人/日）
- ・イベント開催時等は乗合が発生することはあるが、乗合率は平均1.30人である。
- ・チョイソコおかざきの利用者一人当たり市費負担額が9,143円（R3）、7,863円（R4）が高い。

【参考】利用者一人当たり市費負担額	
岡崎市バス運行対策費補助金（バス路線の欠損額への補助）	328円（R3）
額田地域コミュニティ交通 4路線合計	5,583円（R3）、6,300円（R4）
下山地区線	5,171円（R3）、5,588円（R4）
形埜地区線	5,177円（R3）、7,182円（R4）
宮崎地区線	7,780円（R3）、9,063円（R4）
豊富・夏山地区	7,661円（R3）、9,128円（R4）
まちバス（H31）	836円

- ・他交通事業への影響としては、第3・4期で行った並行移動ルールの緩和等についてまとめるとともに、乗り継ぎ等による移動について業者等と調整する必要がある。
- ・岡崎・西尾線はおおむね1時間に1本程度運行しており、西尾市から東岡崎駅、藤田医科大学岡崎医療センターを結んでいる。
- ・岡崎・西尾線では、沿線地区から岡崎駅、東岡崎駅間の移動が多い。  
（通勤定期：109人/日、通学定期：23/日、定期外：343人/日（R30D調査より））  
（通勤定期：101人/日、通学定期：27/日、定期外：340人/日（R40D調査より））
- ・中部学区内停留所の乗降数は南部福祉センター等の利用により多い。  
（通勤定期：24人/日、通学定期：10人/日、定期外：75人/日（R30D調査より））  
（通勤定期：19人/日、通学定期：4人/日、定期外：64人/日（R40D調査より））

(3) 事業の評価について

- 利便性：向上
  - ・学区内の公共交通人口カバー率としては、ほぼ100%となっている。
  - ・高齢者を中心に買い物、通院等の生活交通として約7.1人/日の移動を確保している。
  - ・イベント等でお出かけ機会の創出が図られている。
- 持続性：課題有り
  - ・1人当たり市費負担額が大きい。

(4) 課題及び本格運行に向けた方針について

- 課題
  - 地域的課題
    - ・多岐にわたる移動需要への対応
    - ・高い高齢者需要への対応
  - 実証運行における課題
    - ・持続可能な経費とサービス水準の調整
- 本格運行に向けた方針について
  - ・地区を面的にカバーでき、高齢者向けとなる交通手段の導入
  - ・需要に応じたサービスの見直し

2 導入する交通手段についての検討

本格運行に向けた方針をもとに、導入する交通手段について検討を行う。

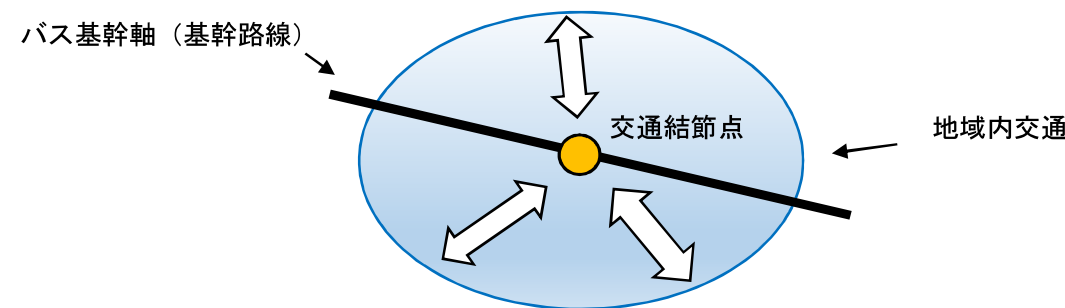
(1) 地区を面的にカバーでき、高齢者向けとなる交通手段の導入

① バス基幹軸

六ツ美中部学区では地域間幹線系統である名鉄東部交通バス岡崎・西尾線（下青野系統）が運行しており、引き続き、路線を維持し、学区から市街地や西尾市方面への移動の確保に努める。

② 地域内交通

南北に走る岡崎・西尾線を基幹路線とし、その路線に接続するかたちで、面でカバーする交通手段を導入するとともに、地域選定の停留所の設置等により主な利用者である高齢者の利便性をあげ、日常生活の移動手段を確保する。また、六ツ美中部学区外にある商業施設等への移動もあるため、学区＋αの区域のカバーを図る。この移動需要に対しては、並行移動ルール等の検証も現在実施しているが、実証運行で行った「チョイソコおかざき」の移動ルールで概ね達成しているため、このルールを導入の基礎とする。



(2) 需要に応じたサービスの見直し

実証運行では、「チョイソコおかざき」というシステムを導入した。地域を面でカバーし、日常生活の移動を確保するとともに、外出支援、健康増進のためのイベントの開催を行うなど、単純な移動だけではないサービスとして機能している。また、協賛者の募集支援等も行い、事業の継続性の確保を図っている。一方で、単純な比較はできないが、他地域の交通路線等への利用者あたりの負担額と比べ、割高なサービスとなっているため、需要に応じたサービスの導入等で継続性の確保が必要であるため、右に記載の項目等について検討を行う必要がある。

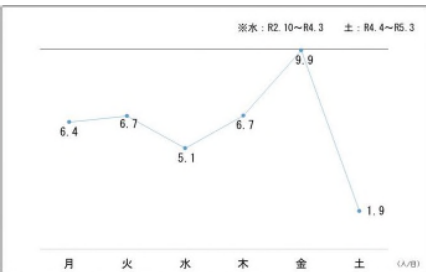
【参考】チョイソコおかざき現行サービス（R4 実績より）

運行概要	エリアデマンド方式乗合タクシー（目的地 to 目的地）
運行日時	月火木金土 9:00～16:00
営業区域	生活エリア（六ツ美中部学区＋近隣学区の一部） お出かけエリア（生活に必要な商業、医療施設を内包する区域）
運賃	生活エリア内の移動：200 円 / お出かけエリアを含む移動：400 円
予約	電話 8:30～16:00 / インターネット予約 24 時間対応
車両	10 人乗りハイエースグランドキャビン（定員 8 名）
主な取り組み	・ 協賛者の募集支援 ・ 健康増進イベントの開催（月に 1 回程度） ・ 協賛者や地域活動等をまとめた「チョイソコ通信」による情報発信 ・ システム導入によるルート選定にかかる支援（運行事業者向け）
指標等 R4 実績	・ 市費負担額：13,540 千円 ・ 市費負担額/利用者：7,863 円

○見直し項目等

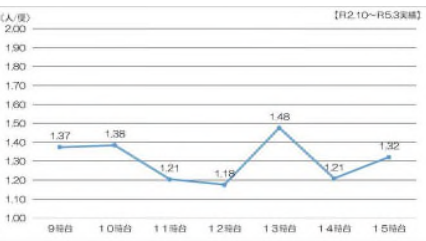
・運行日時について

R5.3 時点においては、週 5 日間の運行をしているが、1 日あたり約 7 人の利用需要に対して運行日の削減余地がある。第 5 期実証運行において、土曜日を削減した場合の検証を進めるとともに、本格運行の際には、事業の継続性の確保のため市費負担額等の指標の改善を図る。



・車両について

月に数回程度、チョイソコのイベント時等に、5 人以上の乗合が発生することもあるが、平均すると、チョイソコ利用における乗合率には、1 便当たり 1.30 人であり、イベント等がないのであれば、「矢作デマンド」のようなセダン型の運行でも輸送が可能である。



・主な取組みについて

健康増進のためのお出かけイベントの開催や協賛事業者の紹介や地域イベントの情報発信のためのチョイソコ通信の配布などを行っている。イベントへの参加による外出促進がなされているが、事業に継続性を持たせるため、費用対効果等を考慮し、サービスの手法の変更や、削減等を検討する。



・運行形態について

チョイソコおかざきについては、予約型乗合サービスとなっているが、他の手段においても、六ツ美中部学区の移動需要に対応できる可能性がある。地域協議会にて比較を行い、より良い交通について検討を行った。

●比較例

	①チョイソコ	②タクシーの活用【乗合】	③タクシーの活用【乗用】
特徴	・ 協賛者の募集支援 ・ チョイソコ通信による情報発信 ・ イベントによる移動機会の創出 ・ ルート選択の支援（事業者向け）	・ タクシーの配車システムの流用 ※矢作デマンドと同様のサービスを想定	・ 区域を定め、タクシー料金の差額負担を想定 ・ 導入スキームによっては事務経費等が発生（会員管理等）
運行日時	月火金 9:00～17:00		— 9:00～17:00
運行方法	エリアデマンド方式乗合タクシーの運行 （目的地 to 目的地）		乗用地域タクシーの運行 （目的地 to 目的地）
営業区域	生活エリア/お出かけエリア	実証運行に準拠し、「目的地」を設定	
料金	200 円/400 円	実証運行に準拠し、200 円、400 円の費用を想定する。	
予約方法	電話予約・ インターネット予約	電話予約	
運行車両	10 人乗りハイエースグランドキャビン（定員 8 名）	タクシー車両（定員 4 名） セダントップ、JPN タクシー	タクシー車両
概算 負担額等	・ 市費負担額：8,121 千円 ・ 市費負担額/利用者：6,384 円	・ 市費負担額：5,965 千円 ・ 市費負担額/利用者：4,562 円	・ 市費負担額：1,801 千円 ・ 市費負担額/利用者：1,046 円



R3 公共交通移動実績抜粋

● 停留所一覧

【生活エリア内+既存バス停留所 300m圏域外】

350 上青野児童遊園地	351 上青野町新井	352 上青野神社東口	353 上青野中央口
354 上青野10組ごみステ	355 上青野高畑	356 高橋町公民館前	357 高橋町南
358 上合欽木町公民館	359 上合欽木こども広場	360 上青野中屋敷	
361 上合欽木町倉庫ごみステ	362 下合欽木町公民館	363 正願寺	
364 下合欽木町新出ごみステ	365 下合欽木北側	370 在家町竹戸	
371 養楽寺	372 在家町地藏堂	373 上三・北	380 上三・前開道
381 上三・東	383 上三ツ木町公民館	384 上三・西	385 下三東側ごみステ
386 下三西側ごみステ	387 下三ツ木町薬師	388 下三ツ木町田中	390 坂左右町公民館
391 坂左右北	392 坂左右中央ごみステ	393 坂左右北東	394 みさかほし西
395 坂左右東	396 上青野11組ごみステ	397 高橋町中	

【● 公共施設停留所】

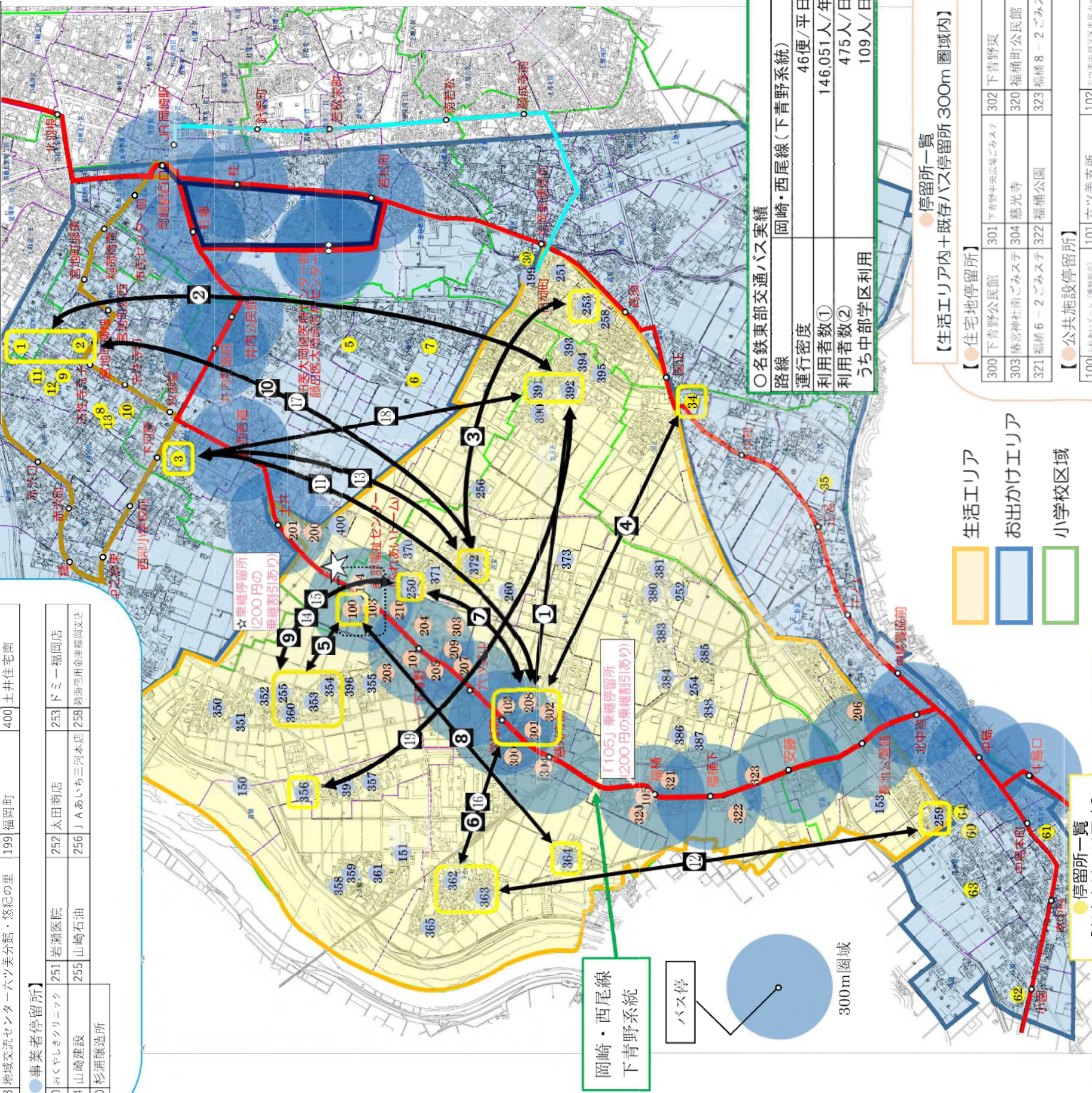
150 高橋グラウンド	151 むつみ包括支援センター	
153 地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里	199 福岡町	400 土井住宅南

【● 事業者停留所】

250 おくやしきクリニック	251 岩瀬医院	252 太田商店	253 ドミー・福岡店
254 山崎建設	255 山崎石油	256 J A あいち三河本店	258 碧海信用金庫福岡支店
260 杉浦醸造所			

OR3チャイコ移動実績抜粋(全移動:1,609件)

	移動	件数
1 102 六ツ美中部学区市民ホーム-392 坂左右中央ごみステ		98
2 111 エルエルタウン-392 坂左右中央ごみステ		82
3 253 ドミ・福岡店-372 在家町地藏堂		81
4 400 34 山本整形外科-301 下青野中央広場ごみステ		62
5 208 カフェ・ド・いな-362 上青野中屋敷		54
6 200 ふれあいドーム(乗継拠点)-360 上青野中屋敷		48
7 250 おくやしきクリニック-302 下青野東		44
8 100 ふれあいドーム(乗継拠点)-364 下合欽木町新田ごみステ		41
9 250 おくやしきクリニック-255 山崎石油		37
10 400 2 城南整形外科-372 在家町地藏堂		36
11 400 3 小出クリニック-301 下青野中央広場ごみステ		35
12 259 岡崎信用金庫 中島支店-362 下合欽木町公民館		34
13 400 3 小出クリニック-372 在家町地藏堂		34
14 250 おくやしきクリニック-354 上青野10組ごみステ		30
15 250 おくやしきクリニック-35C 上青野中屋敷		29
16 208 カフェ・ド・いな-363 正願寺		27
17 400 1 エルエルタウン-372 在家町地藏堂		26
18 400 3 小出クリニック-392 坂左右中央ごみステ		26
19 356 高橋町公民館前-391 坂左右北		24
計		848



○ 名鉄東部交通バス実績	
路線	岡崎・西尾線(下青野系統)
運行密度	46便/平日
利用者数①	146,051人/年
利用者数②	475人/日
うち中部学区利用	109人/日

● 停留所一覧

【生活エリア内+既存バス停留所 300m 圏域内】

【●住宅地停留所】		
300 下青野公民館	301 下青野中央広場ごみステ	302 下青野東
303 林宮神社南ごみステ	304 慈光寺	320 福岡町公民館
321 福岡6-2ごみステ	322 福岡公園	323 福岡8-2ごみステ

【● 公共施設停留所】

100 ふれあいドーム (乗継拠点)	101 六ツ美支所	102 六ツ美中部学区市民ホーム
103 南部福祉センターバス停前(岡崎駅方面乗継拠点)		
104 南部福祉センターバス停前(西尾市方面乗継拠点)		
105 福岡バス停前(乗継拠点)		

【● 事業者停留所】

200 スギ薬局土井店	201 松本歯科医院	203 グッドハウス・プロ
204 よしの瀬	205 天野屋	206 村山医院
207 村田歯科	208 カフェ・ド・いな	209 J A あいち三河青野支店
210 和食 善雅		

● 事業者停留所

【お出かけエリア内】

1 エルエルタウン	2 城南整形外科	3 小出クリニック
5 ちゅう歯科クリニック	6 ともファーマリクリニック	7 金山医院
8 ほっしうじ歯科	9 高岡歯科医院	10 西尾信用金庫六ツ美支店
11 名古屋トヨベツ法性寺店	12 カローラ愛豊法性寺店	13 ネット愛知U-Car法性寺店
30 藤原歯科医院	34 山本整形外科	35 伊藤医院
60 福岡リハビリクリニック	61 鍋田眼科医院	62 和田歯科医院
63 スギ薬局中島店	64 ひろと接骨院	